



山口 晋平 県政報告

第17号
2021年 新春
令和3年

次の人・ことを考えて行動する 山口 晋平

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和三年、干支は辛丑(かのとうし)です。その含意は「辛い事にも信念をもって立ち向かい、柔軟に一步一步新たな道を切り開いていく」です。皆様それぞれ抱負を持って迎えられると思います。私の抱負は「次の人・ことを考えて行動する」です。自分が使い終わった後に使う人のことを、またスムーズに取り組めるよう事前に準備しておくべきこと等を考えて行動に拘りたいと思います。



西村経済再生担当大臣と
コロナ対応について意見交換

昨年(令和二年)は新型コロナウイルス感染症で忘れられない一年となりました。ソーシャルディスタンス、ロックダウン、PCR検査、三密など今まで聞き慣れない言葉が私たちの日常に溢れ、様々なイベントの中止や縮小、生活様式や仕事・働き方等まで大きく変わりました。国や県からの自粛要請等に国民県民が行動で示されたことは、我々が持っている「他者への思いやり」の表現だったと思います。乱世と言われる今だからこそ、「今だけ・金だけ・自分だけ」ではなく、自分以外の人・モノにも配慮し行動することが日本の

未来を創っていくのだと思います。

来年度(令和三年度)はコロナ禍により大幅な税収減が見込まれています。阪神淡路大震災からの行財政構造改革で平成30年度決算において、やっと収支均衡を達成しましたが、今後更に予算を切り詰めて持続可能な行財政運営を強いられるでしょうが、そのことを広く県民に理解して頂き協力を得る努力が必要です。選択と集中を更に徹底し、それによって生み出した財源を投資事業や兵庫の未来づくりに向けた事業に投入すべきであります。将来像を示した地域プロジェクトを行政・民間・事業者・県民が一体となって推進して未来に希望が持てる社会を作る必要があります。ポストコロナ社会を見据え、健やか兵庫を実現しなければなりません。



「ひょうご農林水産ビジョン2030(案)」
について農政環境部会で勉強会

今年度、農政環境常任委員会の委員長を務めています。兵庫五国の多様な気候や風土に根差した多彩な農林水産業が営まれ、産出額においても本県は近畿有数です。農業は近畿地方の32%、畜産61%、漁業71%を占めるなど、重要な食の起点、まさに関西の胃袋を握っています。コロナ禍によりフードチェーンが見直される中、安心安全を確保し

た地産地消であったり、儲かる農業・産業になるようどうしたら良いか、様々な意見を聞きながら取り組んでいます。今後ワクチン・治療薬使用によるコロナ終息が期待されます。一年延期された東京オリンピック・パラリンピックも開催される予定で希望を見いだせる明るい話題があります。明るい兵庫の未来を創るため、覚悟をもって変革を進めていきます。

令和三年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう、また皆様方のご健康ご多幸を心からお祈り申し上げます。

地産地消であったり、儲かる農業・産業になるようどうしたら良いか、様々な意見を聞きながら取り組んでいます。



地元の農業取組みを視察

播磨時報 2020年11月21日号

農家のリアルな声続々 「大地の会」と意見交換

県議会の農政環境常任委員



兵庫県議会の農政環境常任委員(山口晋平)が20日、農業の現場の声を今後の調査研究に反映しようと、大規模な米作りを取り組む若手農家で組織する会社「兵

庫大地の会」との意見交換会を実施した。「地域特性を活かした農業の今後の課題」が主題。夢前夢工房社長の衣笠愛之氏(姫路市夢前町)をはじめ、丹波篠山市や朝来市、上郡町などから6人が集まった。衣笠氏は現状について「値下げしても売れないので作付面積を減らすしかない」と深刻な米離れを憂い、ほかのメンバーも「タマネギなど高収益作物に切り替えているが、皆が追随すればいずれ暴落するだろう」「消費者の理解不足で、川下の1次産業にしろ寄せが来ている」「担い手が育つておらず、使命感だけで就農している」など次々と危機感を口にした。また、農地を集積する大規模ほ場整備に関して、農家側は車両2台がすれ違える幅の農道や無人草刈り機が入る緩勾配の土手を求める意見も多かった。政治家が無理解と思うようになり、大きな問題に進まないという実情を吐露。大きな問題になっている獣害被害については、「鹿や猪の絶対数を減らすべき」とフェンスや網だけで

兵庫ジャーナル2020年9月7日号



自民党県連青年局・部のメンバーが元町から三宮にかけて街頭清掃

自民党県連青年局・部が街頭清掃
山口局長ら10人が3袋分回収
自民党県連青年局・部(山口晋平局長、林健太郎局長)の10人は8月28日夕、元町から三宮にかけての街頭清掃を約1時間かけて行い、汗まみれながらも街の美化に一役買った。山口局長の発案で、昨年12月から月1回のペースで開催しており、新型コロナウイルスで一時的に中断していたが8月上旬に再開。今回は「掃除は世の中を良くする実践活動で、人間力を鍛え、連帯感も強まる。掃除を通して、地域を良くしようとする気持ちや感謝の心を育ててもらえれば」と話していた。次回は10月2日に神戸市中央区内で実施予定。青年局・部のロゴ入りピンスも準備している。

来年度当初予算へ県当局に申し入れ

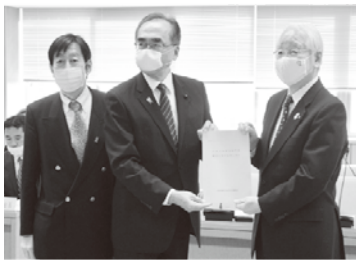
6 最重点項目、部会別301項目盛り

令和3年度の当初予算編成に向けて、9月に提出した重要政策提言6項目と分業別重要政策47項目をもとに、6つの最重点提言および部会ごとにとりまとめた計301項目の要望を井戸知事に県当局に申し入れしました。

新型コロナの総合的対策をはじめ、「力強い兵庫経済の再生」「災害に強い兵庫の実現」「観光ツーリズム振興」「農業の競争力強化と持続的発展」などを盛り込んでいます。

最重点提言

- I 新型コロナウイルス感染症による影響への総合的な対策
- II 力強い兵庫経済の再生
- III 兵庫五国の「地域創生」の実現
- IV 「県民総活躍社会」の実現
- V 災害に強い兵庫の実現
- VI 兵庫の未来を切り拓く政策の推進



藤本百男幹事長（中央）、水田裕一郎政調会長（左）が井戸知事に申し入れ書を手渡しました

最高警戒レベルの「感染拡大特別期」です

「5つの場面」に注意

感染リスクが高まるとされる「5つの場面」と、その後の自身の体調や行動に注意してください。

- 1 飲酒を伴う懇親会等
- 2 大人数や長時間に及ぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 休憩室、喫煙所、更衣室等



外出自粛などの要請

- 東京、大阪など、感染拡大地域への不要不急の往來を控えてください。特に若者は注意してください。
- 感染防止策がなされていない、県内外の感染リスクの高い施設（接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店、カラオケなど）の利用を控えてください。
- 飲食店を利用する場合は、家族や介助者等を除き「4人以下の単位」ごとになるようご協力をお願いします。

◆24時間対応コールセンター ☎078-362-9980
 ◆龍野健康福祉事務所 健康管理課 ☎0791-63-5140
 【受付時間】平日9時～17時30分



https://web.pref.hyogo.lg.jp/index.html



令和2年 県政10大ニュース

<問い合わせ先>
兵庫県企画県民部知事公室広報戦略課報道班
078-362-3020

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止に、医療関係者・県民・事業者が一体となって取り組む

3月に感染者を確認以降、拠点病院である県立加古川医療センターを中心に重症者等へ対応する一方、フェーズに応じた病床や宿泊療養施設の運用と、入院調整を行う「CCC-hyogo」により、自宅療養者ゼロを堅持。「ひょうごスタイル」の推進など県民一丸となって感染拡大防止に取り組んだ。また、融資や支援金給付による事業継続の下支えや、商店街お買い物券・ポイントシール事業等による需要喚起といった経済対策、緊急雇用創出事業や、労使国県による四者合意締結などの雇用対策、生活福祉資金の貸付などの福祉対策を実施。これらの総合的な対策を「兵庫県対処方針」としてまとめ、時々の課題に的確に対応した。

2 ポストコロナを見据え、新しい社会づくりへの取組を展開

コロナ後の新しい社会づくりに向けて、県民の提案募集や有識者による「ポストコロナ社会兵庫会議」の提言など、県民の英知を結集する取組を展開。世界初4冠を連続で獲得したスバコン「富岳」への期待も高まる。また、兵庫情報ハイウェイの増強などのデジタル化、行政手続における押印、書面規制等の見直しを進めた。

3 阪神・淡路大震災25年を迎え、次世代への継承、災害への「備え」が前進

秋篠宮皇嗣妃両殿下の御臨席の下、阪神・淡路大震災25年追悼式典を開催。「世界災害語り継ぎフォーラム」をはじめ、次世代へ継承する事業が多数実施された。また、県内の洪水浸水想定区域図等の公表完了、既存ダムにおける事前放流・期間放流の取組等により、災害への備えが大きく進んだ。

4 県内農場では初の鳥インフルエンザが発生、迅速なまん延防止と風評被害対策に取り組む

11月、淡路市の養鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが発生。直ちに対策本部を立ち上げ、同居家さんの殺処分、焼却、消毒ポイントの設置等まん延防止措置を行うとともに、風評被害の防止を呼びかけた。

5 全国初のボーガン条例制定、加東子ども家庭センター分室新設等、県民生活の安全安心を確保

県内で発生したボーガンによる殺傷事件を受け、青少年愛護条例の有害玩具類に指定したほか、ボーガンの取得に係る届出の義務等を定める、全国初の条例を制定。また、加東子ども家庭センター分室を新設し、急増する児童虐待相談に対応するなど、県民生活の安全安心の確保に努めた。

8 全国最多の日本遺産認定、ひょうご観光本部のDMO化等、新たな観光の芽が生まれる

日本遺産に新たに「伊丹と灘五郷」のストーリーが認定され、全国最多の9件となったほか、県立公園あわじささきがリニューアルオープン。観光地域振興の先導役としてDMO登録された(公社)ひょうご観光本部が、これらの資源を活用し、世界に誇る観光地「兵庫」の形成を目指す。

6 芸術文化観光専門職大学が設置認可、来年4月開学に向け準備が進む

但馬地域において、芸術文化と観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する人材を育成する「芸術文化観光専門職大学」が設置認可を受けた。平田オリザ氏を学長予定者として迎え、施設を整備し、順次入試を実施するなど、令和3年4月の開学に向けた準備が進んだ。

9 プラスチックごみ削減や瀬戸内海の栄養塩類管理等、自然共生や環境の取組が進む

海岸漂着物を対象としていた地域計画を改定し、漂流ごみ・海底ごみを加え、プラスチックごみ対策を強化。また、イカナゴ資源減少の原因が海の貧栄養化であることを解明し、豊穡の海の回復に向け、工場等からの適度な栄養塩類供給のための取組も進めた。



新舞子の海岸清掃をしました(11月15日)

7 起業プラザひょうごが拡充・移転、併設の国連機関「UNOPS GIC Japan(Kobe)」との交流に期待

9月に「起業プラザひょうご」を移転リニューアル(神戸市)。それに先立ち、7月にエリア拠点を姫路市・尼崎市に開設。11月には国連機関「UNOPS GIC Japan(Kobe)」が「起業プラザひょうご」に併設された。こうした拠点の連携・交流により、「起業立県ひょうご」への新たな歩みが期待される。

10 北近畿豊岡自動車道全線事業着手など基幹道路ネットワークの整備が前進

北近畿豊岡自動車道が全線事業着手されるとともに、11月には日高豊岡南道路が開通。播磨臨海地域道路は「内陸・加古川ルート」が選定された。また、名神湾岸連絡線は、来年度新規事業着手に向け、都市計画手続きが進展するなど、基幹道路ネットワークの整備が前進した。

プロフィール

- ◆昭和52年11月10日生 ◆たつの市龍野町島田生まれ ◆龍野市立小宅小学校
- ◆龍野市立龍野東中学校 ◆兵庫県立龍野高等学校(48回生)
- ◆鳥取大学教育学部 総合科学課程理数情報コース卒業
- ◆平成12年7月より、衆議院議員 山口つよし秘書を務める
- 趣味：読書、ゴルフ 血液型：B型 好きな言葉：一期一会
- ◆平成26年4月 兵庫県議会たつの市及び揖保郡選挙区補欠選挙にて初当選
- ◆平成27年4月 当選(2期目) ◆平成31年4月 当選(3期目)
- ◆農政環境常任委員会 委員長 ◆自民党兵庫県連 青年局長

山口晋平事務所

〒679-4109 たつの市神岡町東髭崎 550-201
TEL 0791-65-1919 FAX 0791-60-3677

何でも
ご意見ください

山口晋平 ブログ 検索

E-mail shimpei1110@gmail.com



山口晋平 LINE@
登録はこちらから